

生徒の要約力、発表力アップに向けた新聞活用の取り組み

鵬翔中学校
教諭 福永悠花

1. 本校の現状

本校の生徒は、大学受験を視野に入れて入学してくる者が大半である。そのため、立命館大学の教授による講義や EU 講演など、大学受験を視野に入れた多面的なプレカレッジ講座などの教育活動を行っている。その中で本校は NIE 活動を始めて 5 年目となり、2019 年度は独自認定校として NIE 活動を実践してきた。

2. 新聞受け取り学年とクラスについて(令和元年 6・7 月、2 カ月間)

No.	新聞/期間	学年	クラス
1	宮崎日日新聞	J1	A
2	宮崎日日新聞	J1	B
3	朝日新聞	J2	A
4	毎日新聞	J2	B
5	日経新聞	J3	A
6	読売新聞	J3	B

3. 新聞受けについて(集配→学校)

中学南口玄関に「NIE ポスター (学習委員会担当)」を掲示した。



4. 新聞受け取りについて (中学校→校舎へ)

職員が、2F 廊下に設置する机の上に、生徒が登校する前に置く。生徒登校後、クラスの担当生徒が新聞を取りに来る。

5. 新聞発表の仕方について

①担当生徒が「パネル」にて発表する。

i 記事を選ぶ ii その記事を選択した理由 iii 記事の要約 iv 自由欄（感想）
毎日の活動人数はクラス担任裁量。



②日々実践していること

毎日生徒が書いたものを担当教諭が添削しコメントをつけ廊下に掲示する。その際、要約をするポイントを示したり、教諭自身の考えを記入したりして生徒と意見の共有を行う。

6. 文化発表会「NIE 発表 日本を取り巻く環境（学習委員会）」

今年は「日本を取り巻く環境」という全体テーマを設け、現代社会において注目されている社会問題や環境問題に関してまとめた代表生徒が、2019年9月6日に発表を行った。発表を行う生徒は、自分がまとめた記事を更に細かく書籍やインターネット等を使って調べ、パワーポイントにまとめた。下記はその時のテーマである。

- | | | |
|-----|--------------|-------------------|
| J1A | 有山 拓人 | 「IT 進化 海洋環境が焦点」 |
| J1B | 赤池 瑛仁・池田 直生 | 「分別されずエコプラザへ」 |
| J2A | 高井 映良・田尻 沙耶香 | 「プラごみの輸入禁止」 |
| J2B | 内倉 琳花 | 「街の傷み LINE で教えて」 |
| J3A | 安藤 真優 | 「高齢者向け運転免許」 |
| J3B | 武田 菜花 | 「脱プラごみ ユニクロ紙袋に転換」 |

会場の様子



7. 生徒の感想

NIEの活動を始めて、新聞を読むことが楽しくなりました。また読むスピードも上がり、多くの情報を短い時間で理解することができるようになりました。

新聞の重要さや自分の考えを持ったり、他者の考えを聞いたりすることの大切さをNIEの活動を通して学ぶことができました。これからも新聞を読んで、知識を増やし、考えを深めていきたいです。

NIE活動を通して気づいたことがあります。それは、会社によって大まかな内容は同じでも記者の考え等が違うということです。また同じ記事を選んでいても自分とは違う考えを持っている人の意見を見るのが面白かったです。

新聞をただ読むのではなく、自分が知らない語を、辞書を使って意味を調べたりすることで語彙力が上がりました。何度も要約をしていくうちに要約をするときのポイントが分かってきました。

8. 最後に

生徒たちが書いたものを添削・コメントすることで日に日に生徒たちの要約する力がつき、明確に自分の意見を記述できるようになってきた。昨年度まではテンプレートとなるものを作成しておらず、生徒個人がレイアウトを考え実践してきたが、今年度はテンプレートを作成し、それにそった形で実践を行ってきたため、全学年同じ形で実践ができ、統一感のあるものになった。

2019年度をもって独自認定校としての任期は終了となるが、2020年度以降もNIE活動は継続していく。

以上を実践報告とさせていただきます。